

学校 教育だより

習志野市教育委員会

高みを目指して



<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/gakkyodayori.html>

習志野市鷺沼 2-1-1 電話 047-451-1151 (代表)

平成30年11月21日発行 NO.100

さらなる高みを目指して!

祝 学校教育だより100号&公開研究会

学校教育だより

平成25年1月11日 No.35
習志野市鷺沼2-1-10 電話 047-451-1132
習志野市教育委員会
<http://www.city.narashino.chiba.jp/kyoiku/index.html>

希望を胸に
新たなスタート!



平成25年、そして3学期がスタートしました。3学期は、総まとめの時期です。今までの実践を振り返り、子どもたちの伸び、自分の成長を実感できるまとめになるようラストサポートをお願いします。また、現状に留まることなく、さらなる飛躍に向け、希望を胸に新たなスタートを切りましょう。今年も子どもたちと、先生方にとって実りある年になることを祈念しています。



- ◆教育力の向上・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◆津田沼小学校新校舎完成・・・・・・・・ 3
- ◆節目を過ぎてさらなる高みへ！・・・・ 4
- ◆「音楽のまち習志野」新しいスタッフへ！・・ 5
- ◆目標を持って新たなチャレンジ！・・・・ 6



平成25年1月11日発行 第35号より
特集記事:津田沼小学校新校舎完成



10月11日 鷺沼小学校公開研究会
第1学年 生活科分科会の様子



10月30日 谷津南小学校公開研究会
第6学年 社会科の授業の様子

学校教育だよりは、100号を迎えました。左上は、第35号の学校教育だよりです。この号には、教育長の新年の書「希望」とともに以下のことが書かれています。「現状に留まることなく、さらなる飛躍に向け、希望を胸に新たなスタートを切りましょう。」習志野の子供たちのために、学校教育だよりも公開研究会も、現状に満足することなく、さらなる高みを目指したいものです。

第100号 目次

- ◆ さらなる高みを目指して! 100号&公開研究会・・・1
- ◆ 「学校教育だより」100号記念・・・・・・・・2、3
紙面で振り返る習志野の教育
- ◆ 県教育研究会国語教育部会習志野大会・・・・4
新たな学びに関する教員の
資質能力向上のためのプロジェクト
- ◆ 地域の活動紹介・・・・・・・・・・・・・5
- ◆ 二中、四中周年行事 習志野高校 編集後記・・・・6

紙面で振り返る習志野の教育



★ 第50号 平成26年5月28日 ★



第50号では、地域の方と協力して、児童生徒の学習を進めている様子が掲載されています。どの学校も特色を生かした学習に取り組んでいる様子が伝わってきました。

また、「いじめゼロへの挑戦！」ということで、実花小学校の児童会が中心となり、「よい言葉を増やそう活動」が紹介されていました。温かい言葉を見つけ、教室に掲示することで、心が穏やかになり、どの子も楽しく学校生活が送れるだろうと、子供たちが主体的に活動していました。実花小学校では、今でもクラスでスローガンを集めるなど、児童会が中心となった活動が行われています。

自分たちの学校をよりよい学校に！と子供たちが主体的に「いじめゼロ」に向けた取り組みを行うことは、とても大切なことです。

★ 第75号 平成28年8月17日 ★

第75号では、学力向上の取り組みが紹介されています。

- 「リフレクションをキーワードに」 — 第二中学校
- 「朝自習、家庭学習で力をつける」 — 第四中学校
- 「相手の目を見て聞く」 — 秋津小学校
- 「ICT 機器で子どもの思考を整理する」 — 谷津南小学校
- 「若手教員の更なる成長を目指す」 — 大久保東小学校

「数量・図形を実感させる」 — 藤崎幼稚園
どの取り組みも、今も、そしてこれからも大切にしなければならないことではないでしょうか。

学校教育では、変えなくてはならないこと、変わらず大切にすること、いわゆる「不易と流行」があります。新学習指導要領の完全実施を控えた今、改めて確認することが大事です。



これからの国語教育の方向性を探る！！

千葉県教育研究会国語教育部会 習志野大会

10月26日(金)に「第52回 千葉県教育研究会国語教育部会 研究発表大会 習志野大会」が、第一中学校、大久保小学校、大久保東小学校を会場として盛会に取り行われました。会全体の研究主題を、「一人一人が生きる言語活動の展開」として、基調提案、公開授業、授業校での分科会、全体講師の東京学芸大学名誉教授の田近洵一先生の演題「問いを立て追究する過程」の記念講演、支会提案、協議会が行われました。新学習指導要領実施に向けて、これまでの習志野の国語教育を発揮した大会となりました。そして、無事に次期開催支会の東総支会に引き継ぎを行いました。



第一中 2年生
タブレットを効果的に利用



大久保小 ひまわり学級
登場人物になりきる授業



大久保東小 2年生
班活動で対話的な学習の様

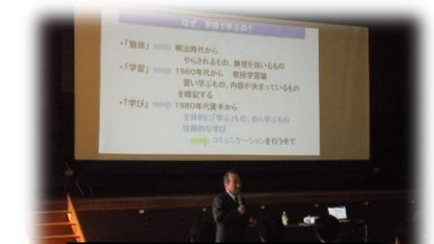
新学習指導要領実施に備えて！！

新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト

11月5日(月)に「新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト」が、第三中学校で開催されました。第三中学校は、平成29年度から県教育委員会の指定校として、今年度からは市教育委員会の指定校として、新学習指導要領に示された「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた授業の実践を目指して、研究を進めてきました。研究主題を「主体的に学ぶ力を伸ばす指導の探究」～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善～として、公開授業、横浜国立大学名誉教授の高木展郎先生による記念講演、分科会が行われました。習志野市内だけでなく千葉県内、全国からも多くの教育関係者が参観をして、分科会においては活発な意見交流が行われました。今回の第三中学校での研究成果をしっかりと各学校に持ち帰り、来るべき新学習指導要領完全実施に向けて、計画的に準備をすることが大切です。



中学3年生 数学・関数の授業
机間指導による適切な助言



高木展郎先生による
熱気あふれる記念講演



吹奏楽部 打楽器四重奏
感動！！歓迎の演奏



地域の活動紹介



秋津まつり ～秋津幼稚園・秋津小学校～

10月7日(日)、秋晴れの中、秋津地域で「秋津まつり」が開催されました。本まつりは秋津小学校前のバス通りが歩行者天国になり、開会セレモニーでは秋津幼稚園の園児たちがダンスをしたり、秋津小学校の児童たちがソーラン節の演技を披露したりして、会場を盛り上げました。また、ゲームや模擬店で大人と子供と一緒に楽しめるコーナーもあり、まさに地域住民が一体となった秋津まつりとなりました。



ナラシド♪と園児のかわいいダンス

親子三代ふれあい祭り ～第五中学校～



りんごの皮むき競争の様子

10月14日(日)、第五中学校で「親子三代ふれあい祭り」が開催されました。あいにくの雨模様のため体育館で行われましたが、卓球部、柔道部、ソフトボール部、女子ソフトテニス部が競技の準備をしたり、お弁当を運んだり、地域の方と協力して運営のお手伝いをしました。多くの地域の方の参加により、親子三代で会場は盛り上がりました。

和太鼓 in ならしの ～袖ヶ浦西小学校・袖ヶ浦東小学校～

11月11日(日)、「2018和太鼓 in ならしの」が習志野市民会館で開催されました。毎年この時期に行われる和太鼓の一大イベントで、袖ヶ浦西小学校と袖ヶ浦東小学校の3年生が出演しました。

練習では主に袖ヶ浦公民館で活動している「袖っ鼓連」の方々に教えていただき、本番は緊張感の伝わる中、練習の成果を見事に披露することができました。終わった時の達成感や充実感は貴重な体験だったと思います。

これからも一生懸命、様々なことに取り組んでいてほしいものです。



袖ヶ浦東小学校「袖っ鼓連」の方々から丁寧に御指導していただきました。



袖ヶ浦西小学校気持ちの入った演奏ができました。

第二中学校 70周年

生徒会長 岳井 遥司

70年前、僕も僕の親も生まれていない時から続く歴史の重みを、今改めて感じております。

今の学校生活の中にある楽しさや感動は、歴代の先輩方のおかげです。過去に誰かが「日本一の体育祭」というスローガンを掲げたから、今の体育祭はこんなにも盛り上がっています。過去に誰かが音楽で優秀な成績を収めたから、習志野は「音楽のまち」と言われています。このように、「時間」というのはつながっているのです。過去の誰かの頑張りが、未来の誰かの力になることがあるのです。

今、僕達は時々悩みながらも、懸命に生きています。この頑張りが何十年も先の後輩の力になれば、これ以上うれしいことはありません。こうした「時間のつながり」が、これからもずっと続くことを願っています。



第四中学校 50周年

生徒会長 片山 智稀

この50年という長い月日の中で、四中独自の文化として「四中魂」という言葉が受け継がれてきました。「四中魂」とは、「学習・行事・部活動に燃える心」「勤労をいとわず進んで奉仕する心」「礼儀を重んじ感謝する心」の3つの心のことを指します。「四中魂」という言葉は、様々な行事でスローガンとして掲げられており、今でも私達四中生の大切な道しるべのようなものになっています。先輩方の「想い」が詰まったこの言葉が今の四中を支えています。

四中には今までに卒業された先輩方をはじめ、先生方や地域の方々など、様々な人々の「想い」がこもっています。これらの「想い」を決して無駄にすることなく、未来へつなぎ、四中のさらなる発展の「エネルギー」にしたいと思います。



習志野高校 連携授業

習志野高校では、生物、物理の授業で東邦大学、かずさ DNA 研究所と連携授業を行っています。

<東邦大学>

「物質の中の電子が拓く世界」
「光から電気を生み出す」
～色素増感太陽電池～



超伝導現象などの、物質中の電子が示す不思議な現象を勉強、体験しました。

<かずさ DNA 研究所>

「アガロースゲルと電気泳動装置による DNA の分離」
「PCR 法及びアガロースゲル電気泳動を用いて自身の ALDH 2 (アルデヒド脱水素酵素) の解析」



電気泳動法を用いた脱水素酵素の働きと遺伝子の影響についての講座が行われました。

編集後記 食欲の秋、読書の秋・・・いろいろな秋がありますが、今年の習志野市においては何と云っても「芸術の秋・スポーツの秋」でしょう。今年度も大久保小学校、第二中学校、第四中学校、習志野高校の4校が2年連続でバンドフェスティバル・マーチング全国大会に出場しました。また、野球では習志野高校が秋季関東地区大会でベスト4、第一中学校が県新人大会で優勝を果たし、全国大会出場を決めました。習志野の子供たちの活躍が光る秋となりました。これからもGo! Go! 習志野!